

# SIR 企業レポート

2015 年 11 月 15 日

## 株式会社ホットリンク（東証マザーズ：3680）



### 事業内容

- ・ソーシャル・ビッグデータを活用したクラウドサービスの提供事業者。
- ・ソーシャル・メディア分析ツール「クチコミ@係長」（全世界の全 Twitter データや、2ちゃんねる(独占商用利用)、3,400 万ユーザ以上のブログデータ等の解析) や、ソーシャルリスク（ネット上での風評被害等）モニタリングサービス「e-mining」等のツール系商品を提供。
- ・「2ちゃんねる」の独占商用利用権を持つほか、本年 1 月に買収した米国 Effyis 社は、中国ソーシャルメディアデータの販売ライセンスを保有している。
- ・従来のマーケティング解析ツール（上記「ツール系商品」）の提供に加え、ビッグデータのデータ流通プレイヤーとして、クラウド・プラットフォームの提供を強化することにより、中国のインバウンド情報提供による観光産業や、金融等の多くの産業への拡大を目指している。
- ・当事業モデルは、ツール系商品、プラットフォームともに顧客からの月額利用料を得ている。
- ・データ流通プレイヤーの地位を確立することを目指し、当社は海外のビッグデータ保有者との連携を高めるとともに、Effyis 社買収を皮切りに、中国のメディアモニタリング・分析企業「普千」への出資をおこなうなど、事業のグローバル展開を推進中で、中期的には売上高の 80%を海外売上とすることを目指している。
- ・当社は現在本年 1 月に買収した Effyis 社の PMI（Post-Merger Integration）の過程。当期は買収後の経費増大により下方修正を行うこととなったが、次の成長過程を模索中。



## Effyis 社買収などの事業拡大に伴う、成長のための 忍耐の時期

### -事業計画の下方修正を発表-

(2015 年度 Q3 レビュー)

**【決算概況】（日本基準）**

（以下何れも単位；百万円）

	2015年12月期3Q	2014年12月期3Q	前年 同四半期比
売上高	1,829	735	248.8%
営業利益	△106	93	—
営業利益率	△5.8%	12.9%	—
経常利益	△164	93	—
四半期純利益	△179	40	—
のれん償却前 営業利益	93	138	67.5%

第三四半期（累計）は、Effyis 社買収効果により、売上高は前年同期比約 250%となった。

しかし、①買収後日米の会計基準の統合（IFRS の採用）に伴う会計処理上の決算修正②業務拡大の過程における経費の増加③買収後の状況の変化による回収不能債権の損失処理④買収資金の送金に伴う為替差損が発生し、今回の決算で通期業績予想の下方修正を行っている。

**【下方修正の概要】**

	今回修正予想	前回発表予想	増減額	増減率
売上高	2,409	2,423	△14	△0.6%
営業利益	△31	208	△239	—
当期利益	△124	106	△230	—

下方修正に至った個別要因は以下の通り。（法人税の見積もり等により、当期利益ベースで下記金額の合計額と当期利益での増減額は一致しない。）

**② 買収後日米の会計基準の統合（IFRS の採用）に伴う会計処理上の決算修正**

科目	金額	内容
<b>【海外事業】</b>		
減価償却費	46	減価償却費の計算方法を米国で定められている2倍定率法からIFRSで定められている定額法に変更したことにより、過年度に遡って計算し直したことによるもの
人件費	60	買収直前期の2014年12月期のEffyis社の財務諸表で費用計上していた従業員に対するキャッシュインセンティブプランが、買収後において会計監査上否認された
計	106	

② 業務拡大の過程における経費の増加

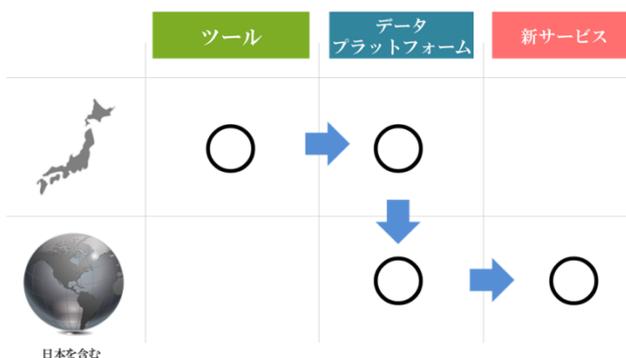
科目	金額	内容
<b>【海外事業】</b>		
人件費・広告 宣伝費・支払 報酬等	77	ポータルサイトの構築及び営業体制強化に伴う要員の新規採用、並びに管理体制の強化に伴う採用や会計コンサル費用、会計監査費用の増加
<b>【国内事業】</b>		
賃借料	30	事業拡大に伴うクラウドサーバーの費用
計	107	

③ ④ 買収後の状況の変化による回収不能債権の損失処理④買収資金の送金に伴う為替差損

科目	金額	内容
<b>【海外事業】</b>		
貸倒引当金繰 入額	30	買収後の状況の変化による回収不能債権の損失処理
為替差損	33	Effyis社の買収資金の送金に伴う為替差損
計	63	

以上を総括してみると、今回の費用増のうちオーガニックでの経費増は 30 百万円のみで、246 百万円は海外事業の拡大に伴うもの（うち、実質的な経費増は海外の事業拡大に伴う 77 百万円と貸倒引当金 30 百万円の合計 107 百万円）で、その他は会計処理に関わるものとの見方が出来る。（為替差損については、早期にドル転後前期末での為替レートとの評価差損から発生したものの。）

【事業展開の状況】

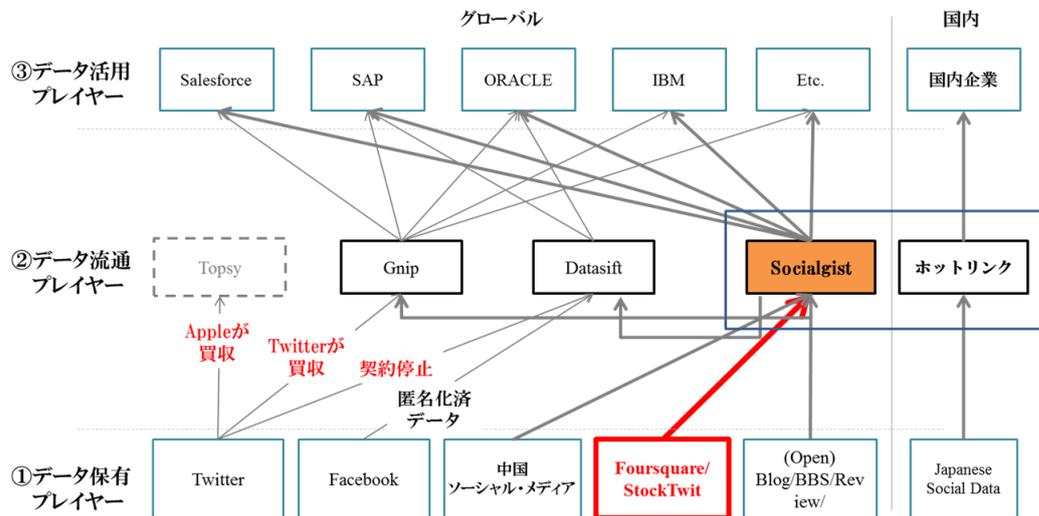


当社は上図に示すように、従来の国内ソーシャル・ビッグデータ解析ツール事業（マーケティングツール“クチコミ@係長”や、ガバナンス強化ツール“e-mining”）から新たな飛躍を目指し、グローバルな事業展開を推進することを目指している。

これを推進するためには、グローバルなソーシャル・ビッグデータ流通プレイヤーである Effyis 社の買収は今

後の成長戦略に不可避であったと思われる。

実際、当四半期においても、位置情報とコミュニティを融合したサービスを展開する Foursquare からの情報供給を受けるなど、新たな事業展開を行うことで“データ流通プレイヤー”としてのグローバルな地位を築きつつある。



また、単なるデータ流通のみならず、当社が従来から保有するデータ解析技術を活用し、ソーシャル・ビッグデータを一般企業にもわかりやすく提供するサービス（図解 中国トレンド Express）が好調に推移している模様で、同様のサービスを水平展開することを目的として「(株)ホットリンクコンサルティング」を「(株)トレンド Express」として社名変更し、新たなサービスを提供する方針を明示している。

**SIR は、当社がグローバルなビッグデータ流通プレイヤーになるための過渡期として今回の下方修正が発生したものと判断し、今後の事業拡大による成長戦略の結実を注視していきたい。**

**ストラテジック・IR・インサイト株式会社**  
代表取締役社長 関口 裕一

#### 免責事項

- ・本レポートは、ストラテジック・アイアール・インサイト株式会社が、投資家に対して株式投資の参考資料として作成したものであり、特定の証券又は金融商品の売買の推奨、勧誘を目的としたものではありません。
- ・本レポートの記載内容は、一般に入手可能な公開情報および、弊社取材による情報に基づいて作成されたものであり、インサイダー情報の入手およびその使用は禁じられております。本レポート作成に当たり、その情報は正確かつ信頼に足るものと考えておりますが、その正確性が客観的に検証されているものではありません。
- ・本レポートに含まれる情報は、金融市場・商品市況・経済環境等の変動等の理由により最新のものではなくなる可能性があります。また、本レポート内で記載されている、現状および将来的な予測については、弊社が適切と判断した材料に基づく弊社予想であり、実際とは異なることがあります。したがって、将来の数値等について明示または黙示を問わずこれを保証するものではありません。
- ・本レポート内で示す見解は予告なしに変更されることがあり、弊社は本レポート内に含まれる情報および見解を更新する義務を負うものではありません。
- ・弊社は、投資家が本レポートを利用したことまたは本レポートに依拠したことによる、直接・間接の損失や逸失利益および損害を含むいかなる結果についても一切の責任を負うものではありません。
- ・本レポートの著作権はストラテジック・アイアール・インサイト株式会社に帰属し、許可なく複製、転写、引用等を行うことを禁じます。

ストラテジック・アイアール・インサイト株式会社